

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年8月19日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年8月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機非常用ディーゼル発電機(A)の清水冷却器出口排水弁の弁棒折損について】</p> <p>協力企業作業員が、計画点検に伴う海水系の水抜きを行うため、清水冷却器出口排水弁を開操作しようとしたところ、弁ハンドルが固く開操作できなかつたため、浸透液を塗布後に開操作をした際、弁全閉状態で弁棒を折損した。当該弁は全閉状態で弁棒を折損した状態であるが、通常全閉運用の弁であること、また、弁体のシート機能はあることから系外漏えいの影響はない。</p> <p>計画点検に伴い、非待機中であることから弁棒折損による非常用ディーゼル系統への影響はない。</p> <p>今後、当該弁の交換または修理を予定。</p>	GⅢ	8月16日
2	<p>【構内物揚場付近の海面における油の発見について】</p> <p>協力企業作業員が、構内物揚場付近の海面に油らしき物が浮いていることを発見した。</p> <p>現場調査の結果、物揚場の浮き桟橋に係留されている船の付近に銀白色の油膜が薄く広がっている状況であり、油の範囲については、船(約10m×約7m)の全周および船の南側約5m×2mであることを確認。</p> <p>消防署により「油漏れ事象」と判断された。</p> <p>漏えいの原因については不明だが、油膜の広がり確認されておらず、吸着マットにより回収済み。</p> <p>今後、原因を調査し、対策を検討予定。</p>	GⅢ	8月16日
3	<p>【増設多核種除去設備供給タンク(A)出口弁シート漏えいについて】</p> <p>協力企業作業員が、増設多核種除去設備(A)循環待機時に、供給タンク(A)の水位低下及び吸着塔入口バッファタンク(A)の水位上昇を確認。</p> <p>供給タンク(A)と吸着塔入口バッファタンク(A)の間に設置されている供給ポンプ(2A)吸込弁を「全閉」にしたところ、供給タンク(A)の水位低下及び吸着塔入口バッファタンク(A)の水位上昇が止まったため、供給タンク(A)出口弁のシート漏えいと判断。</p> <p>処理運転時は、顕著な水位変動がないことより系統運転に支障なし。</p> <p>今後、原因調査ならびに修理対応予定。</p>	GⅢ	8月15日